



SNS という大衆文化と大衆の革命

令和7年7月6日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

これらは強権性における人々の搾取が SNS という大衆文化において新たな大衆文化の創造を経て、社会の転換を得るものである。

これらは過去から続く、強権政治という現実とヒエラルキーへの挑戦が存在するのである。これら大衆の反乱は大都市において特に顕著であり、新たな未来の探究はこれにおいて今日存在するのである。

これらはフランス革命を彷彿させることは、大衆の革命であるという点においてである。

これらは世界規模で存在することは理解すべきである。これらは自由陣営における自由主義に対してそれら強権主義という環境においても、インターネットの拡大が新たな大衆文化の創出を実現するためなのである。

これらアンダーグラウンドという現実は今彼らのツール、新たな通信環境とともに、確固として現実を有するのである。

これらは秘密警察やスパイなどがこれら現実への監視を有することは完全に正しい。これらは他方において新たな管理社会の計画が存在するためである。

またマスメディアにおいて情報の統制があることともにこれら相反する2つの現実はついに最終戦争において対峙するものである。

また今日世界は新たなエリートたちの誕生を有するものである。高い教育と優れた地位は、彼らの求める未来にのいてその合意を有するのである。

これらは大衆の反乱は、その新たな権利の希求とともに新たな世界の創造を大衆がリードすることが今日存在するのである。

大衆の文化と世界という彼らの理想は、新たな権力闘争を未来において有することは存在するのである。それにおいて我らの歴史への共有の理解は権力主義という誤りから大衆に



おける世界の所有という新しい理想を提示するのである。